

貧酸素水塊速報 (2018年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 ○ 東京都環境局
 (国)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成30年8月6～7日観測結果

貧酸素水塊の分布域は先週(8月1日)より拡大し、内湾北部からアクアライン南側まで広がっています(図1)。溶存酸素量1.5mL/L以下(貝類に影響あり)の水塊は、内湾北部の水深15m以深の海域に分布しています。

貧酸素水塊の厚みは海底から最大20m, 規模は約40%と今年最大です(図2, 3)。

今後北東風が吹くと、この水塊が湾奥に波及することが予想されますので、引き続き注意してください。

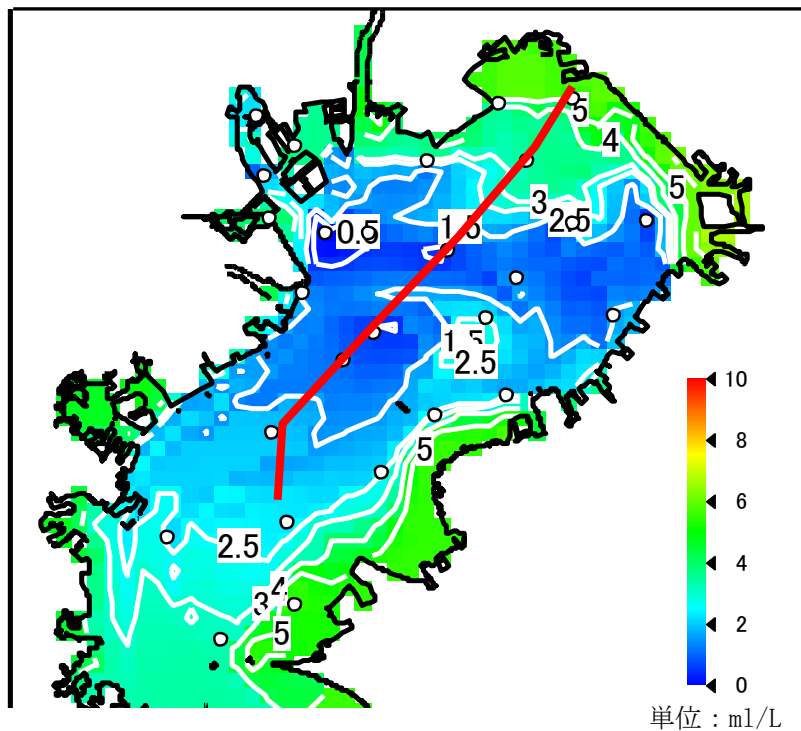


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

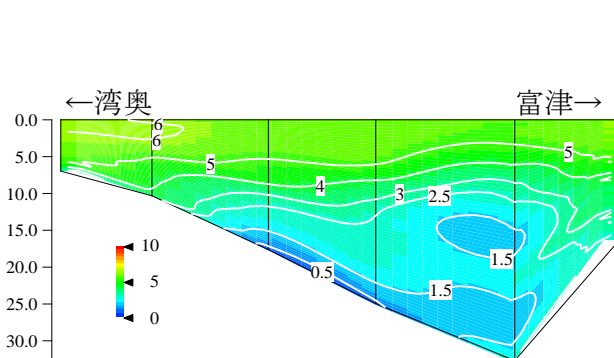


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

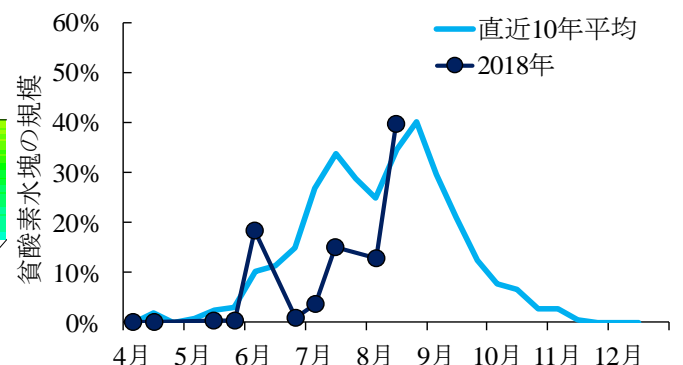


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5mL/L以下)が占める割合)